

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月21日(17:10~18:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7人	2人	人	人	9人

前回の改善計画

事前の医療情報(既往歴や病状など)詳しく把握できていないことがある為、医療面で詳しい情報が必要な利用者の事前訪問には、看護師も計画作成担当者と一緒に訪問し、詳しい医療情報を得る。

前回の改善計画に対する取組み結果

・看護師も利用開始前や退院前等の事前訪問に同席し、医療情報を得ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	3		1	9/9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	3			9/9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	3			9/9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	4			9/9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用開始前に本人や家族、以前利用していた事業所の職員等から情報を得るとともに、本人や家族の身上を把握し、その思いや不安を受容し納得のいく説明や事前見学を実施したりし、安心と信頼を得られるよう努めている。そこで得た希望や課題は、書面やミーティングで職員へ周知している。本人や家族が今必要とされるサービスを見極め、緊急性及び本人の背景を考慮し、多職種と連携しサービス内容等を調整している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・介護支援専門員が得た情報やご家族からの連絡帳で情報をミーティングで共有しているが、職員全員参加では行えず、細かい部分の情報共有が難しい状況がある。
- ・新規利用開始前に深く話し合うミーティングの機会を設けておらず、情報の共有が不十分と感じる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・新規利用開始前にミーティングを開催し、情報の共有、理解を深める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 21 日 (18:00~18:50)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	4 人	人	人	9 人

前回の改善計画	情報が不十分な利用者の話し合いをする際は、参加できない職員から事前に意見を聞いたり、用紙に書いてもらう等し、情報を集めてから話し合いを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当者は検討会議開催前に会議に参加できない職員から意見や情報を収集し、会議を開催した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	5	1		9/9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	5			9/9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	5	1		9/9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	3	1		9/9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前はもちろん利用の途中でも、常にその方の意思をくみとり、援助目標を設定し介護計画書を作成している。利用の度に目標の実施状況を確認し問題点等は検討会議を開催し、現状に即した介護計画書が作成できるよう本人や家族、多職種と意見を交わしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者との関わりが少ないことにより、認知症や障害等で自分の意思を上手く表現できない方の意思や意向が把握出来ていないことがある。 ・家族 (介護者) の意見がサービスに繋がっている現状もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・日常の関わり全てが意思や意向を把握する機会と職員は捉え、利用者との会話や表現、しぐさ等から背景を探る。知りえた情報を記入すると共にミーティングで話し合い「本人の思い」の把握に活用する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 21 日 (18 : 50~19 : 50)

3. 日常生活の支援

メンバー 9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	4 人	1 人	人	9 人

前回の改善計画

介護計画書の見直しの際、以前の暮らし方を確認し忘れないように、「以前の暮らしを確認する」等、話し合いの注意点を記載したリストを作成し、それを確認してから話し合うようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・話し合いの注意点を記載したリストを作成し検討会議を運営したが、以前の暮らしを確認するまでには至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	2	1	9/9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	3			9/9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7			9/9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	3			9/9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	4			9/9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用開始前に自宅に訪問し生活環境等を確認するとともに、本人や家族から生活歴等の聞き取りを行い把握できている。また、以前利用していた介護サービス事業所や介護支援専門員から情報提供を受け、サービス利用の経過等も把握している。本人の変化等は記録に残されると共に、1日3度のミーティングで職員間で共有し、その時々合った支援ができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・独居や老老介護利用者の生活環境の把握は、情報提供者に限られ利用開始前に集めた情報のみになりがちとなり、生活環境の把握が不十分である。
- ・「以前の暮らし方」について、アセスメント等で把握できているが、10 個以上と問われると、そこまで深く把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・利用開始後も日々の会話や家族・友人等から以前の暮らし方について追加で情報収集し、得た情報は記録に残す。ミーティングでも職員へ周知し共有する。
- ・アセスメントシート様式を見直し、以前の暮らし方やこだわり等を詳しく記入し情報を共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 8 月 22 日 (17:10~18:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	人	人	9 人

前回の改善計画	新人職員が多いこともあり、地域資源についてわからない職員がおり、それをどう利用者の支援に繋げるかも理解できていない。地域資源についての学習会を開き、活用の例も交えて職員の理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域資源について活用例を交えた学習会を開催したが、人事異動もあり全職員が理解を深める事はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	2		9/9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	5		1	9/9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	5	1	1	9/9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	4	1	9/9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用開始前に自宅に訪問し生活スタイルや人間関係を本人や家族から聞き取りを行い把握している。地域の馴染みの商店へ買い物や食事、足湯や理容店の利用など、個々の外出支援を行っている。地域ボランティアの受け入れ、地域の高齢者施設との交流、事業所広報誌の配布など、積極的に地域との交流を図っている。自宅での暮らし方については、日々の会話や介護支援専門員の訪問等で家族から情報を得て把握している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員は施設内のケアが中心で、本人の自宅や地域での生活について、直接支援したり状況を把握する機会が少ない為、地域との関係や地域資源の情報について意識が薄い部分がある。 ・本人や家族が元々地域との関わりが希薄で、外出されることも少なく近所に親しい方がいない人もあり、改めて地域と関わるのが難しいケースもある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源についての学習会を継続して開催し、引き続き理解を深められるように努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 8 月 22 日 (18:00~18:40)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	2 人	2 人	1 人	9 人

前回の改善計画	職員が地域資源についての知識を身に付け、地域資源が有効に利用できる利用者には地域資源の提案をできるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域資源について活用例を交えた学習会を開催したが、人事異動もあり全職員が理解を深める事はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	5		1	9/9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	1			9/9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	2			9/9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	3	1		9/9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者個々の身体状況や生活背景、本人を支えている家族の都合も考慮し、必要なサービスを適切に提供している。又、地域の掃除・傾聴ボランティア、配食弁当、ふれあい収集(ゴミ収集)など、地域の資源も活用し支援している。体調の変化が見られた際は、速やかに家族や個々の主治医、母体の協力医療機関と緊密な連絡をとり、適切な医療が受けられるよう支援している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに合わせ「通い」「訪問」「宿泊」のサービスが提供されている利用者がある一方、家族の要望を優先している場合や金銭的な問題もあり、適切にサービスが提供できない利用者もおられた。 ・利用者個々が暮らしている地域資源等の把握が不十分で、事業所だけで支えている利用者もいる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々が暮らしている地域資源を把握し、事業所と地域資源を活用し利用者を支援する。 ・利用者の自宅での様子や困りごとなど運営推進会議において具体的に発信し、助言をいただき地域での生活を支える。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 22 日 (18 : 40 ~ 19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	1 人	2 人	9 人

前回の改善計画
利用者が参加できる地域のイベント等について、現場職員にも情報収集や提案をしてもらおうと共に、運営推進会議等を通して、地域の交流や活動等を模索していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・運営推進会議構成員や職員、利用者や家族から情報収集し、地域の活動に参加できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	3		2	9/9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	5	1	2	9/9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	4	2	2	9/9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	4	1	2	9/9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアプランの更新時はもちろん、利用者の状態変化時、福祉用具の貸与や変更等、適切に医療機関、訪問看護師、福祉用具専門相談員、理学療法士等と、担当者会議を設けている。町内会の掃除、避難訓練にも積極的に参加している。又、自治体等の会議にも参加している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の幼稚園・小学校の子ども達と定期的に交流を行っていたが、相手方の都合や事業所側の働き掛けが足りず、現在は交流がない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・以前交流を行っていた幼稚園や小学校へ再度働き掛け、子供達と利用者が楽しく交流ができる機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 23 日 (17:10~17:40)

7. 運営

メンバー 9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	2 人	2 人	0 人	9 人

前回の改善計画

事業所と長岡市は災害時協定を結んでおり、災害時には契約していないお年寄りも受け入れができることを毎回地域向け広報誌で伝えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・地域向け広報誌にて、災害時には契約していないお年寄りも受け入れができることを発信したが、地域に必要とされる拠点となるまでに浸透されていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	3	5	0	1	9/9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	2	0	0	9/9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	4	0	0	9/9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	5	2	1	9/9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職員の意見が運営に反映できるよう個人面談や月 1 回、事業所会議を設けている。利用者には関わりの中で要望等を聞き取り、その意見等を反映している。また、年 2 回、満足度調査を実施し提供するサービスにおいて不足点等を把握し、サービスの充実を図っている。家族には介護支援専門員の訪問時や、利用時の連絡帳、送迎時の職員との会話などを通して意見を寄せてもらっている。受けた要望等は職員で話し合い柔軟に対応している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・多種多様な日常の支援と業務をこなす事が精いっぱい状況で、利用者以外の困り事を知ろうとするまでの意識が向かなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・地域住民に事業所の認識と支援の特徴の理解が深まるように、小規模多機能型居宅介護の特徴や事業所で開催する行事を地域向け広報誌で発信する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 23 日 (17:40~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	1 人	人	人

前回の改善計画

外部の研修の案内を回覧したり、各職員のレベルに合った研修の提案等をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・個別面談を実施し、その職員が資格取得やスキルアップのために必要な外部研修等を提案し参加したが、全ての職員が参加できなかった。
- ・研修に参加した職員が伝達講習を実施し、職員個々、事業所全体の向上が図れた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	5	2	1	1	9/9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	1	1	9/9
③	地域連絡会に参加していますか	1	3	2	3	9/9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8			9/9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

事業所職員は毎月、法人研修に参加したり、併設施設合同の内部研修を企画・参加し職員として必要とされる知識や技術を身に付けている。又、介護福祉士・介護支援専門員の資格取得に向け、通信教育や研修会に参加している。各職員のレベルに合わせた地域密着型サービス管理者研修、計画作成担当者研修、介護福祉士実習指導者講習会等にも参加している。定期開催している地域連絡会に参加している。介護事故が未然に回避できるようカンファレンス、研修を開催している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域連絡会には管理者が参加しており、介護職員には認識が薄い。
- ・ヒヤリハット、事故報告書の原因と改善策については速やかにカンファレンスを開催し、後日改善策について評価を行い再発防止に努めているが、同様の事故等が続いて発生する場合もある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・1ヶ月に1回開催している事業所会議においても改善策を評価し、より適切な対応を心掛け再発予防に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 23 日 (18 : 30 ~ 19 : 20)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	4 人	人	人	9 人

前回の改善計画	
話し合い時のプライバシーに関する注意事項 (周りの利用者には聞こえないよう声の大きさに気を付ける等) を職員全員で確認してから、申し送りや話し合いを始める。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・ 申し送りは事務所内で行い利用者や外部の方に配慮していた。 ・ 声のトーン等、職員間が互いに指摘し合える関係が築けた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	1			9/9
②	虐待は行われていない	9				9/9
③	プライバシーが守られている	4	5			9/9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4	1	2	9/9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	4			9/9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束や虐待については法人全体の研修、内部研修に参加し学んでいる。また、自宅での様子も見過ごされることがないように注意を払い未然防止に努めている。個人情報の利用目的・方針については、契約時に本人や家族に書面で説明し了承を得ているとともに、個人情報にあたる書類は鍵の掛かる書棚で適切に管理している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	プライバシー保護の研修は行っているが、意思疎通の困難な利用者や耳の遠い利用者等のトイレの誘い方など職員同士互いに注意しあう事が欠け、周りの方への配慮が不足している場面がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・ プライバシー保護に関する研修への参加を継続する。 ・ 実際の事例を定期的に検討することで、本人や周りの方に配慮ができる環境を作る。